

今月の一庫ダム



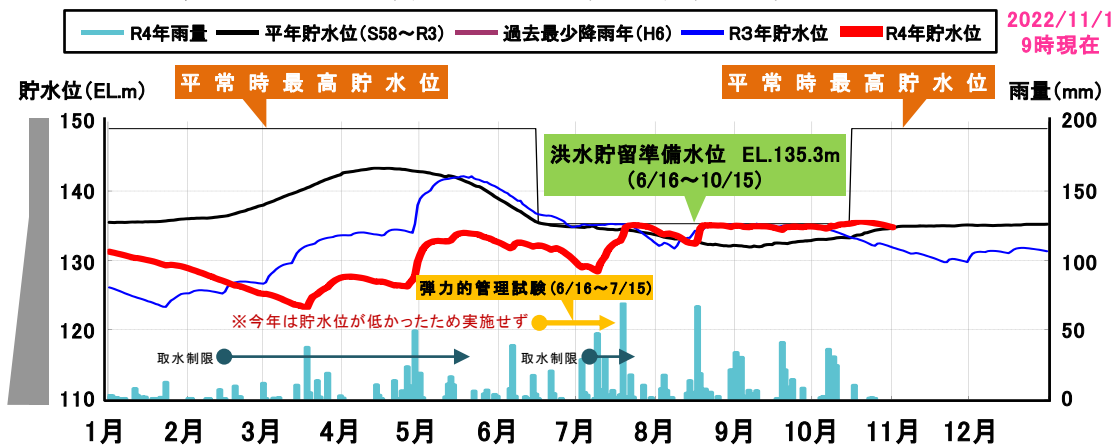
●雨量、貯水池状況、流況

10月の月雨量(ダム流域平均雨量)は104.7mmで、平年125.0mmに対し約84%の雨量でした。

一庫ダムの下流河川の状況は、利水基準地点虫生(むしゅ)へ17日間約86万³mを補給しました。

11月8日現在、貯水率は約46.2%です。

一庫ダムの主な年間貯水位曲線と令和4年の日雨量



Topics

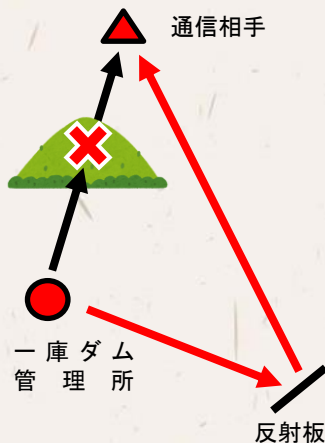
ダム設備のあれこれ



今回はパラボラアンテナと反射板の紹介です!
一庫ダム管理所のレンガの建物のうえに、ドーンと乗っかっている大きなアンテナ。あれは何じゃ?と気になったあなたは立派なダムマニア!(かも)

パラボラアンテナとは名前のとおり「放物局面をした反射器」を持ったアンテナの事です。筆者は良くパラボラと言いつつ間違えることがあります。パラボラでするので間違えなく(笑)

さて、そんなパラボラアンテナ君ですが、家庭用テレビで衛星放送を受信する時にも使われたりします。おなじみの方も多いと思います。一庫ダムのパラボラアンテナは、通信のために使用していて、多重無線(通称:マイクログ)と呼ばれる通信設備で使用しています。



からマイクログ波を出して通信する事のメリットは、地震などの災害が起きた場合でも、通信しやすいという特徴があるからです。パラボラアンテナ自体は、地上から約21mの高さについていて、ここからマイクログ波を出して、いろいろな事務所と通信することができます。マイクログ波が飛んでいく途中に、山などの障害物がある場合には、マイクログ波が届かなくなってしまうので、このような場合には、「反射板」というものを置いて、マイクログ波を反射させて、障害物を迂回させることで通信相手にマイクログ波が届くようにしています。



一庫ダムの反射板は、山の上に設置されているので、まわりの樹木が成長してマイクログ波の反射を邪魔することがないように、定期的に点検を行い、問題なく通信が行えるようにしています。



ワンポイント豆知識

ちなみに、大きなパラボラアンテナは、皆さんが知っている形とちよと違って、三角錐(さんかくすい)の形に見えますが、あれは汚れ防止のために蓋(ふた)をつけているからです。

貯水池の状況 (R4.10.20 撮影)
貯水位 EL. 135.59m
貯水率 50.5%



ツイッターでも情報やお知らせをいち早く発信しています!

@jwa_hitokura

水資源機構 PR動画の放映

川西市が川西能勢口駅前の南側歩行者デッキに設置している2台のデジタルサイネージ(電子看板)にて、水資源機構創立60年記念動画を放映しています。放映は12月31日までですので、ぜひご覧ください。



水資源機構YouTubeでも水資源機構PR動画を見ることができます!



YouTube

水中ドローン勉強会

ドローンといえば、四方にプロペラがついていて空からの撮影を行うマルチコプターを思い浮かべる方が多いと思いますが、ナント今回ご紹介するのは、水中を潜水・潜航しながら撮影できる水中ドローン（ROV）



です。写真のように操縦者が船上や陸上からモニターを見ながら遠隔操作で機体操縦を行い、リアルタイムでの撮影映像により水中設備の点検、調査が行える機械装置です。操作にあたっては熟練した技術が必要ですので、水中ドローンを所有する木津川ダム総合管理所の職員を講師に招き、実演を行って頂いた後、職員一同でドローンの操作方法の違いを体感しました。水中を単に見るのみなどの簡単な潜水作業が、潜水士によらず実施できるため、一庫ダム管理所においても導入を検討しています。

インターンシップ受入

令和4年9月26日（月）からの1週間、京都大学からインターンシップ生一名を受け入れ、職員が普段行っている業務を実体験するなどの実習に取り組んでもらいました。ダム管理所の業務体験を通じて就業の意義について多少なりとも感じていただけたのではないかと思います。今後の就職活動の糧（かて）としていただけると幸いです。



今回の体験が、将来の進路を考える一助になれば幸いです。

2022・秋

川の耕し隊！

環境保全のとりにくみアユの産卵場の保全を

10月14日（金）、16日（日）に「川の「耕し隊」」を開催（主催：一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会）しました。一庫ダム貯水池（知明湖）では、ダム貯水池を海とみなし生息するダム湖産のアユが生棲（せいせい）しています。このアユの産卵場を保全し、アユの再生産に寄与することを目的として、平成17年度よりダム貯水池流入部の浅瀬において、産卵場の整備（クワなど）による川底を掘り起こし、アユが産卵に好む浮き石

状態にすることを）を行っています。耕し作業終了後は、環境学習会及び周辺の清掃活動を行い、美しい猪名川・知明湖の再生を目指しています。「川の「耕し隊」」参加の皆さまには、アユの塩焼きを召し上がっていただきつつ、アユのぼりにアユへの思いを書いていただきました。来年の6月中旬頃には、川を遡上するアユとアユのぼりのコラボレーションが見られるでしょう。

参加者さまとイベント終了後に記念撮影♪



環境学習会



耕し後の清掃活動中！

がんばって耕し中



「耕し隊」とアユのぼり



恒例のアユの塩焼き♪



アユのぼりに「鮎」への思いをカキカキ♪

季節のイベント&活動報告

川西一庫ダム周遊マラソン大会 11月20日開催！

来たる11月20日（日）に、第41回一庫ダム周遊マラソン大会が開催されます。



一庫ダムの秋の風物詩であるこのイベントは、コロナ禍により2年続けて中止でしたが、今年は3年ぶりの開催となります。ダム湖100選にも選ばれた知明湖を舞台とし、秋の装いをした里山の自然豊かなコースが魅力です。種目は2kmペアの部、3km、5km、10km、ハーフと多く、各々が自身に合った種目で楽しめます。

一庫ダム周遊道路クリーンアップ

10月22日（土）、川西市商工会主催による一庫ダム周遊道路クリーンアップが実施されました。この催しは、11月20日（日）に開催される「川西一庫ダム周遊マラソン大会」において、コースとなる一庫ダム周辺の道路を、ランナーの方が安全・快適に走って頂けるよう清掃を行うものです。

当日は、約160名の川西市内の事業者および川西市の方々が一庫ダムに集まり、秋晴れの中、落ち葉や枝などを集めたり、

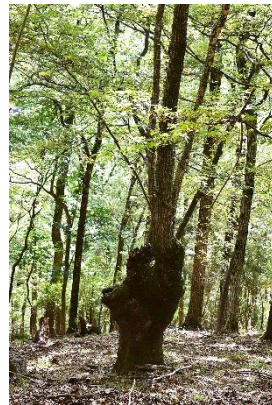


溝さらいなどの力作業に汗を流しました。職員も全員この活動に協力しました。

周辺スポット紹介

川西市の指定文化財（天然記念物）
だいば
台場クヌギ群落

猪名川上流域のクヌギ林は、少なくとも室町時代までさかのぼることができる池田炭・一庫炭の生産地でした。当地域で生産された黒炭はもとも高品質であり、茶道の炭として利用されたことが江戸時代の文書に記されています。台場クヌギは猪名川上流域の里山の歴史や文化を語るうえで、貴重な文化財です。



クヌギ（ブナ科コナラ属クヌギのどんぐりが縄文時代の遺跡から出土した記述もありますが、中国移入説もあり、各地の文化とともに歴史をたどるのも面白いですね。



クヌギのどんぐりは大きくて丸い形。「どんぐり」とはブナ科のコナラ属、シイ属、マテバシ属の果実の総称。



妙見の森「台場クヌギ林」にある炭窯跡
この炭窯跡は昭和30年頃まで使用されていました。

現在も、茶道用の菊炭の原木として利用されており、根元から1〜2mあたりで伐採し、その伐採部分から再生する※萌芽（ほうが）枝を育て、8〜10年後に萌芽枝を伐採して新炭原料などにします。

この作業を繰り返す中で土台となった主幹がずんぐりと太くなったクヌギが台場クヌギです。クヌギの樹液にはオオクワガタをはじめ多様な生物が集まるため、生物多様性の維持にも大きな役割を果たしています。

独立行政法人 水資源機構 一庫ダム管理所

〒666-0153 兵庫県川西市一庫字唐松4番地の1

TEL:072-794-6671 FAX:072-794-1908

